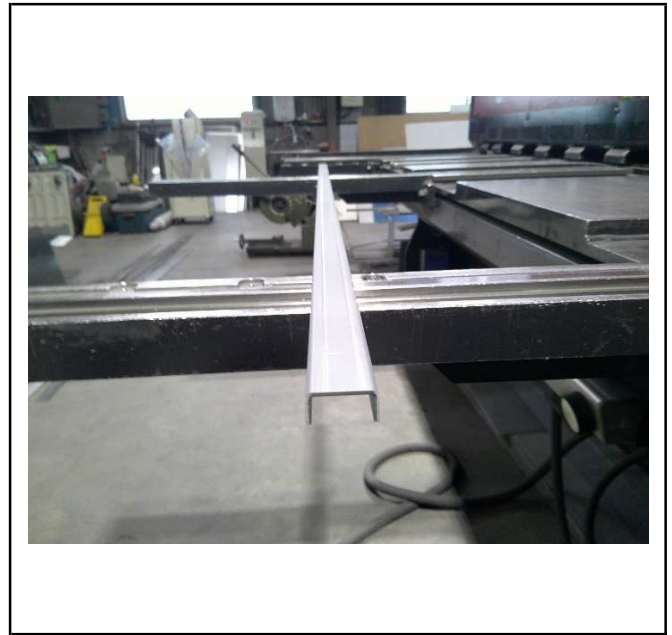


## カーボンフットプリント（CFP）

会社名：コアスリー株式会社  
住 所：香川県観音寺市大野原町中姫614-1  
TEL：087-802-9438  
HP：https://www.corethree.co.jp/

製品名称：ニホンフラッシュ C型鉄芯

### 写真



### 算定単位

製造単位（1本）あたり

### 算定対象段階

中間財

原材料調達、生産、流通

### 製品用途

サッシ補強材

### 製品の型式、主要仕様・諸元

型 式： L 1830 15×29.5×15

本体構成素材： spcc

寸法（mm）： L1830 15×29.5×15

板厚（mm）： 2.3

質量（kg）： 1.7

## カーボンフットプリント（CFP）

### ①CFP算定結果

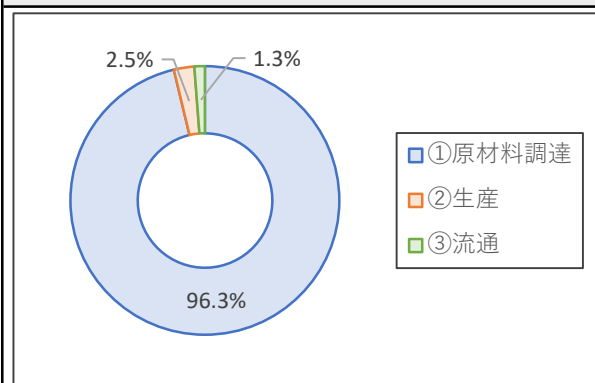
項目		数値	単位
CFP算定結果		5.4	kg-CO <sub>2</sub> eq
内訳	①原材料調達	5.2	kg-CO <sub>2</sub> eq
	②生産	0.1	kg-CO <sub>2</sub> eq
	③流通	0.1	kg-CO <sub>2</sub> eq
数値表示		5.4	kg-CO <sub>2</sub> eq
表示単位：		製造単位（1本）あたり	

※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

### ③その他の環境関連情報

--

### ②算定結果に関する追加情報



輸送については、一次データが得られない場合、

以下の輸送シナリオを用いて算定

輸送距離（市内もしくは近隣市間に閉じることが確実な輸送の場合）：50km

### ④CFP算定結果の解釈

算定対象段階全体の内、原材料調達段階の温室効果ガス排出割合が96.3%と最も大きく、生産段階では2.5%でした。

原料使用量等は当社データを利用していますが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品素材固有の特徴を反映していない場合があります。この結果は概算値としてご理解ください。

### ⑤使用した2次データの考え方

IDEA Ver.3.1 を使用した。

### ⑥備考

—

●製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。

# SBT認定内容詳細

原文

CORETHREE Co., Ltd.

Japan, Asia

Organization type: SME

Sector: Building Products

Company temperature alignment: 1.5°C

Business Ambition for 1.5°C commitment: ✖

**Target language:** This target was approved using a streamlined target validation route exclusive to small and medium-sized enterprises (SMEs). <https://sciencebasedtargets.org/faqs-for-smes/> CORETHREE Co., Ltd. commits to reduce scope 1 and scope 2 GHG emissions 42% by 2030 from a 2022 base year, and to measure and reduce its scope 3 emissions.

TARGETS / COMMITMENTS

## 1 Targets

Status: -

Target: Absolute

Scope: 1+2

Target classification: 1.5°C

Base Year: 2022

Target Year: 2030

Date Published: 2023-12-21

和訳

コアスリー株式会社

アジア 日本

組織類型: 中小企業

セクター: 建築製品

企業の目標設定水準: 1.5°C

「Business Ambition for 1.5°C」に賛同を表明: ✖

※国連グローバル・コンパクト、SBTイニシアチブ、We Mean Businessの呼びかけによる、世界の平均気温の上昇を、産業革命以前と比べ1.5°Cに抑えることを目指す国際的なキャンペーン

**具体的な目標:** 本目標は、中小企業向けの最新式の目標検証方法によって承認済みである。コアスリー株式会社は、2022年を基準年として、2030年までにスコープ1とスコープ2の温室効果ガス排出量を42%削減し、スコープ3の排出量を測定・削減することを約束します。

## 1 削減目標

ステータス: 該当なし

削減目標: 絶対的条件

スコープ: 1+2

目標分類: 1.5°C

基準年: 2022年

目標年: 2030年

公表日: 2023年12月21日